

2026 年 7 月 20 日発行

けんいちだより

発行責任者：さいたま市議会議員 さいとう健一（さいたま市見沼区） 住所：さいたま市見沼区深作 3-22-7

**令和 8 年さいたま市議会 6 月定例会 活動報告****特集1：本会議 一般質問ダイジェスト（6月10日登壇） 一般質問およびその答弁要旨****01 命を守る熱中症対策！****「冷水給水スポット」の設置を強く要望！子どもの学習支援について**

一般質問及び答弁要旨は右記のQRコードからご覧頂けます



【さいとうの訴え】猛暑で熱中症のリスクが高まっています。市の給水スポットは「常温水」のままで対策として不十分です。運動時などに有効な「冷水」が出るよう、小中学校や主な公共施設での「冷水給水スポット」への切り替えを強く求めました。



【市の答弁】こまめな水分補給を呼びかけます（保健衛生局）。冷水化は予算や電源設備などの課題がありますが、実現に向け研究を進めます（教育委員会）。



本会議で一般質問を行う さいとう健一

02 全ての子どもを取り残さない「児童育成支援拠点事業」の拡充

【さいとうの訴え】不登校など困難を抱える子どもを支える事業が、令和6年度から見沼区・緑区で始まりました。とても重要ですが、必要な数に対し受け皿が足りません。実施地域を早く広げるべきと訴えました。

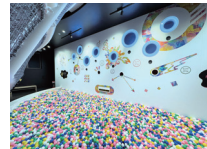
【市の答弁】今年度は新たに岩槻区で開設する準備を進めています。担い手も確保しながら、実施エリアの拡大に努めます。

**03 本市初「道の駅」整備と全天候型こども施設の提案**

【さいとうの訴え】宮ヶ谷塔地区の「道の駅」について、令和15年度開設に向けた市長の決意を確認。

向かいの空き地（約9.5ha）には、雨や猛暑でも子どもが遊べる「全天候型の大型公園施設」の整備を提案しました。

【市の答弁】令和15年度の開始に向け、できる限り早期の開設に努めます。向かいの土地も可能性の高いエリアと考え、道の駅との相乗効果を検討します。

**特集2：保健福祉委員会 議案外質問ダイジェスト（6月15日）****01 介護職の人材確保へ！（スケッター導入、介護DXと伴走型支援）**

【さいとうの訴え】深刻な介護人材不足の解消へ、資格不要の仕事を未経験者に担ってもらう「スケッター事業」と、ICT活用で現場を楽にする「介護DX」を提案。専門家が寄り添う「伴走型支援」の必要性も訴えました。

【市の答弁】業務の切り分けや未経験者の活用は重要な課題で、先進事例を参考に検討します。伴走型支援は有益なご提案で、効果的な取り組みを進めます。



議案外質問及び答弁要旨は右記のQRコードからご覧頂けます



特集2: 保健福祉委員会 議案外質問ダイジェスト (6月15日)

議案外質問及び答弁要旨は右記のQRコードからご覧頂けます



02 障がい者の就労支援 (就労継続支援 A 型事業所の経営支援)

【さいとうの訴え】最低賃金の上昇などで、就労継続支援A型事業所の経営が厳しくなっています。国への要望に加え、市からの発注拡大や適正単価での受注支援、2029年の社会保険義務化への対策を求めました。

【市の答弁】評価制度や社会保険の拡大は国の動向を注視し、必要に応じて働きかけます。今年度は調達実績が目標を大きく上回り、引き続き障がい者優先調達を進めます。



保健福祉委員会で議案外質問する さいとう健一

03 聴覚障がい者等への支援 (電話リレーサービス、「ヨメテル」等)

【さいとうの訴え】聴覚障がいのある方を支える「電話リレーサービス」や、相手の声を文字で表示する「ヨメテル」の導入支援を提案。通話料を市が負担する登録や端末購入補助、窓口・ウェブでの「手話リンク」導入を求めました。

【市の答弁】普及啓発を続けます。「法人登録」は現在調整中です。端末補助や「手話リンク」は、公平性や他市の状況を踏まえ調査・検討します。



特集3: 6月定例会 注目議案/市民生活に関わる重要なお知らせ

令和8年度 補正予算の主な内容

- 物価高対策の実施：国の重点支援地方交付金を活用し、高齢者・障がい者施設、保育所・幼稚園、病院、農業者等への支援金を給付するとともに、中小企業者の省人化・省力化等に資する設備導入費用を補助します。
- 「放課後子ども居場所事業」の拡大：待機児童解消のため、令和9年度から新たに小学校3校を追加し、全10校(見沼区は春野小)で事業を実施するための経費等を計上しました。

税金・保険料に関する制度見直し

- 国民健康保険税：課税限度額が66万円から67万円に上がり、新たに「子育て支援分(3万円)」が加わります。一方で軽減の所得基準が引き上げられ、保険税が安くなる世帯が広がります。
- 軽自動車税：環境性能割が廃止され、燃費の良い軽自動車の税を軽くする「グリーン化特例」が2年間延長されます。
- 固定資産税：令和9年度から免税点が引き上げられ、家屋は20万円から30万円、償却資産は150万円から180万円となり、対象者の負担が軽くなります。

子どもたちの安全と健やかな育ちのために

- 児童対象の性暴力防止対策：保育所や認定こども園などで働く職員に、性犯罪の前科を確認する安全措置が義務化されます(令和8年12月25日施行)。
- 認定こども園等の少人数学級化：満4歳以上の園児の学級基準が「35人以下」から「30人以下」に引き下げられます。

安全で快適なまちづくり

- さいたま市新庁舎の整備：令和8年4月に基本設計が完了し、実施設計に入ります。建設予定地の「さいたま新都心バスターミナル」は令和9年に解体されます。
- さいたま市民医療センターの設備修繕：地域医療を守るため、無停電電源装置などの大規模な修繕を行います。

さいとう健一の視点

制度は皆様に活用されてこそ意味があります。貴重な税金がニーズに合っているか、教育・福祉の新規事業が現場で生かされているかを、私、さいとう健一がしっかりと確認してまいります。そして、『子育てするならさいたま市』に加え、『健康づくりをするならさいたま市』と言えるまちづくりを力強く進めてまいります。

さいとう健一の市政情報配信



さいたま市議会議員 (見沼区)

さいとう健一

皆様のご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください。

さいとう健一

検索

ホームページ <https://k-saito.jp>

FAX : 048-611-7631

✉ saito@k-saito.jp

公式 HP

